

# フロンティア 知恵を絞る

「これが我々の線量計 キャストに寄付される仕  
だ」。今月25日、国際的 組みだ。

な有志プロジェクトのセ 今夏をめどに、インタ  
ーフキャストの設立一周 ーネット通販のアマゾン  
年を記念し、主要メンバ など発売する計画。昨

が東京・渋谷に集まっ 年3月の東京電力の福島  
た。米国からかけつけた 第1原子力発電所事故で  
放射線量計メーカーのイ 各地に拡散した放射性物  
ンターナショナル・メド 質を、一般市民を巻き込  
コム社（カリフォルニア ながら大規模に測定で  
州）のダン・サイス社長 きるようになるかもしれ  
は、手のひら大の試作品 ない。

を披露した。 サイス社長は友人に紹  
介されてセーフキャスト  
 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ の3種類の にかかわった。そんなメ  
放射線が計れ、パソコン ンバーは多い。実は始ま  
のUSB端子を経由して りはたった3人のネット  
インターネットに簡単に つながる。角がないデザ  
イン性も特徴。1台5万 上でのやりとりだ。  
円前後で、一部がセーフ 族の安全確保はできた

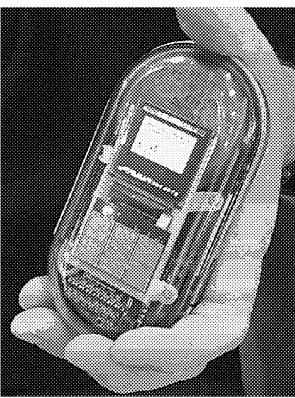
か」。福島事故直後、 ールが飛び交い、「つぶ  
日本にいたマネックス証 やき」も連発。一通り安  
券常務執行役員のピーテ 全の確認ができた後は、  
ル・フランケンさん、海 放射線や線量計について  
外を飛び回っていた米マ 話が移っていった。だが  
サチューセツ工科大学 品薄で入手困難。それな  
(MIT)の伊藤穰一メ ーネットワークの慶応義  
ディアラボ所長、米ロサ が一致した。 塾大学の村井純教授と輪  
ネット上の議論で大ま かな方向性が決まり、よ

うやくメンバーが集まっ 定手法があるが、今後は  
たのは事故の約1カ月 データを合わせられるよ  
後。議論がネット上なら、 うにしたい」という。  
資金集めも米国の資金調 友人やボランティアの  
達サイト「キックスター 輪を超え、様々な企業へ  
ター」を活用した。アイ も協力を呼びかけてい  
デアだけから出発、足り る。例えば小売店やタク  
ない技術も資金も外から シー会社などには普段業  
調達する。究極のオーブ 務で日本中を走っている  
ンインベーションだ。 車に線量計の搭載を依頼  
偶然も手伝った。福島 中という。今後の線量の

測り始めた。 放射線以外にも微小粒  
子による大気汚染や水の 汚れなど身の回りの環境  
問題は少なくない。「市 民科学者を巻き込み、セ  
ーフキャストの取り組み を応用すれば計れる」と  
フランケンさんは考え てる。

## セーフキャスト

### 線量計、外から技術・資金



インターネット・メドコム社な  
どが試作した小型線量計。パソコン  
にUSBで接続できる

#### 記者の目

#### ネットの力活用 参考になる活動

鉄道の運行情報をミニ  
ブログ「ツイッター」で  
素早く入手した事例な  
ど、インターネットは災  
害時にも役立つメディア  
だった。セーフキャスト  
でも、世界中の専門家  
結びつけ、資金や必要  
ボランティアの力も結集  
できた。  
一方で被災地には、ネ  
ットを使わない高齢者な  
ども暮らす。セーフキャ  
ストでは線量計の値と測  
定日を書いたシールを壁  
などに張って知らせる取  
り組みも始めている。ネ  
ットにとどまらず、様々  
な手段を利用する柔軟性  
がある。ネットにはプラ  
イバシーの流出など負の  
側面もあり、万能ではな  
い。それでも、ネットの  
持つ力を上手に活用する  
取り組みは、今後の参考  
になるはずだ。  
(鴻知佳子)